

# 令和3年度 女性の農業委員会初任者委員の ための研修会

～農業委員会活動の第一歩を踏み出そう！～

日時：令和3年11月9日

場所：オンライン開催

主催  
全国農業委員会女性協議会

後援  
(一社)全国農業会議所



令和3年度 女性の農業委員会初任者委員のための研修会  
～農業委員会活動の第一歩を踏み出そう！～

次 第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 講 演

「メタ視点のススメ ～批判的思考を活用する～」

駒澤大学経営学部教授 渡辺 伊津子 氏

4. 事例報告

兵庫県宍粟市農業委員会	農業委員	藤木	悦子	氏
鹿児島県枕崎市農業委員会	農業委員	水野	正子	氏
宮城県仙台市農業委員会	推進委員	高山	真里子	氏

5. 閉会

# 目 次

## 1. 講 演

「メタ視点のススメ ～批判的思考を活用する～」

駒澤大学経営学部教授 渡辺 伊津子 氏…………… 1

## 2. 事例報告

兵庫県宍粟市農業委員会	農業委員	藤木 悦子	氏……………	7
鹿児島県枕崎市農業委員会	農業委員	水野 正子	氏……………	8
宮城県仙台市農業委員会	推進委員	高山 真里子	氏……………	13

# < 講 演 >

メタ視点のススメ  
～批判的思考を活用する～

駒澤大学経営学部教授

渡辺 伊津子 氏



令和3年度 女性の農業委員会初任者委員のための研修会  
～農業委員会活動の第一歩を踏み出そう！～

駒澤大学 渡辺伊津子  
nabe@komazawa-u.ac.jp

研修タイトル：「メタ視点のススメ ～批判的思考を活用する～」

**Part 1** あなたの周りに吹く「風」に気づいていますか？

- ・「風」という漢字の意味は？
- ・ある地域や社会集団の範囲内で一般に行われている…
- ・新規参加者がその集団に入るとき
- ・その集団に同化していく
- ・無意識だから気づかない、変えられない

**Part 2** そもそも「風」が吹くのは何のため？

- ・日本の集団は「場の共有」が基本
- ・風は集団結束を盛り立てる「旗印」
- ・風が及ぼす「付随的」な影響
- ・中根「集団の力が個人の中に入り込んでくる」

**Part 3** 思考スキルの獲得と向上

- ・ライフスキル（生きる力）としての批判的思考
- ・「自分に影響を及ぼす要因」を認識し、検討するスキル
- ・女性活躍推進とは
- ・さまざまな場面で活用できる批判的思考

## Part 4 批判的思考の基本は「メタ視点」

- ・ 批判的思考とは
- ・ メタ視点とはいつもより1つ高い視点
- ・ ダイバーシティとは「視点の多様性」
- ・ 女性の視点を活かすとは？
- ・ メタ視点のポイント① 自分はどのような視点で問題を捉えているか？（練習問題）
- ・ メタ視点のポイント② 他者はどのような視点で問題を捉えているか？
- ・ こんな練習が役立ちます
- ・ 本日のまとめ

### 【お知らせ】

本資料の内容は当日若干変更される場合があります。

### 【お願い】

録画およびスクリーンショットなど Zoom 画面複写はご遠慮ください。  
セミナー終了後、ご希望の方には資料を提供させていただきます。

### 【研修のお問合せ】

(株)アスクワン

代表 渡辺伊津子

TEL: 052-462-8900 (直通 090-7686-2018)

Mail: askonedd@gmail.com

HP: askone.jp



## < 事例報告 >

兵庫県宍粟市農業委員会  
農業委員 藤木 悦子 氏

鹿児島県枕崎市農業委員会  
農業委員 水野 正子 氏

宮城県仙台市農業委員会  
推進委員 高山 真里子 氏



# 藤木農園の概要



1. 住所 兵庫県宍粟市山崎町上比地246
2. 栽培面積 6ha (ハウス 26a 露地野菜 180a 水稲 400a)
3. 経営内容
  - 水稲 コシヒカリ・ヒノヒカリ・マンゲツモチ
  - 施設野菜 トマト(大玉・ミディ・ミニ) メロン(札幌キング)
  - 露地野菜 バレイショ・タマネギ・スイートコーン・ハクサイ・ダイコン・カブ
  - 農産加工品 モチ各種・切干大根・ドライトマト
  - 作業受託 アゼヌリ・田植え・刈取・乾燥 延べ300a
4. 労働力 家族6人(父・母・本人夫婦・娘・息子) パート4人
5. 経営の特徴

- ①地元農協直売所(JA兵庫西旬菜蔵 山崎)へ多品目野菜を周年出荷
- ②市外スーパーのインショップへの出荷
- ③自家での直接販売
- ④兵庫県推奨ブランドを取得し、安心安全な農産物生産
- ⑤メロンは自身のブランド「やまさき夢メロン」として販売
- ⑥宍粟つちのこクラブ(宍粟市の若手農業者組織)のメンバーとして、市内の幼稚園、小学校の児童生徒を対象とした食農教育を実施。収穫作業体験などを通して食べることの大切さを伝えている。
- ⑦中学生の「トライやるウィーク」を毎年受入。
- ⑧地元集落の作業委託を引き受け、地域の担い手として活動している。



7. 経歴 藤木 茂 兵庫県青年農業士(H11~H20 会長H18~H20)  
兵庫県農林水産政策審議会委員(H21~H25)  
兵庫県農業経営士(H25~)

- 藤木 悦子 兵庫県女性農漁業士(H24~)  
ひょうごアグリプリンセス(H25~)  
揖宍地区若手女性組織 ふたば会(H21~)  
宍粟市農業委員(H29~)



# 人とのつながりを大切に ～楽しみながら農業委員活動～

## 枕崎市農業委員 水野 正子

▶ 1

### 自己紹介

枕崎市農業委員  
水野 正子（43歳）



枕崎市で「加治とうふ」を母と  
営む三代目。

ラッキョウや高菜などを漬物と  
して加工・販売。

家族は、専門学校生の娘、中学  
三年生の息子、夫一人。



▶ 2

## 枕崎市の農業の概要

総農家戸数：605戸  
農地面積：1,990.1ha  
遊休農地面積：132.8ha



「南の食糧供給基地」として、  
温暖な気候・風土を活かし、主に  
茶、花き、かんしょ、実えんどう、そら豆、タン  
カン、豚、肉用牛などの特色ある農業を展開。

▶ 3

## 枕崎市農業委員会

農業委員：10人（女性3人）  
推進委員：4人  
事務局：4人



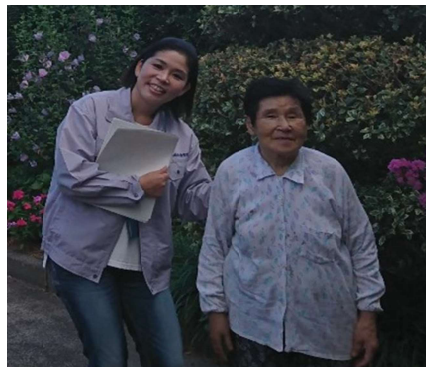
▶ 4



## 戸別訪問について

### ○総点検活動

- ◆ 高齢化や鳥獣被害が深刻であることを痛感。
- ◆ 個人の財産について尋ねることになるので身構える方も多い……。でも、話をしていくと徐々に心を開いてくれて、帰りには次のお宅を教えてくれる人も！  
人生劇場も楽しみながら総点検！！



▶ 5

## 戸別訪問について

### ○農業者年金加入推進活動

- ◆ 初めは農業者年金に加入する人がいるか不安。
- ◆ 農業者年金を勉強するにつれ、国が支えてくれて銀行に貯金するより良い制度であることを実感。
- ◆ 農業者の将来の保障は大切！ 加入推進部長として戸別訪問などを実施。



▶ 6

## 農家への情報提供について

### ○人・農地プランの話合い活動

- ◆ 人・農地プランの話合い活動では農地の情報を提供。
- ◆ 10年後、20年後を見据えて、地域の中心となる経営体にどのように農地を集積していくのか等を話し合うことが大切。



▶ 7

## これからの抱負

- 国民の大切な食料生産のための農地を少しでも減らすことなく、後世にも引き継いでいく手助けがしたい。
- さらに見聞を広め、農家の皆様の役に立てるよう楽しみながら頑張りたい。
- 農業委員の役割や活動内容を多くの市民に理解していただけるよう、もっと農業委員会活動をPRしたい。

▶ 8

ご静聴ありがとうございました





# 農地の有効利用と女性農業者

～輝け農村、未来を目指して！女性委員が果たすべき役割～



令和3年11月9日

仙台市農業委員会

農地利用最適化推進委員 高山 真里子

## I. 仙台市の概要

### 仙台市の位置

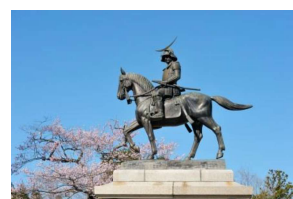


▲光のページェント

人口	約109万7千人
市域面積	786.3km <sup>2</sup>



▲仙台七夕



▲伊達政宗公騎馬像

## Ⅱ. 仙台市の農業 (出典: 2020年農林業センサス)

### 1. 農家

総農家数	2,521戸
販売農家数	1,584戸
自給的農家数	937戸

### 2. 農業就業者数

農業就業者数	2,360人
女性	908人(38%)
50歳未満	307人(13%)

### 3. 経営耕地面積

水田	畑	合計
4,287ha	795ha	5,082ha

## Ⅲ. 仙台市農業委員会の体制

### 1. 委員数 53人

	委員数	認定 農業者	中立委員	女性	50才未満
農業委員	19人	12人	2人	2人	0人
農地利用最適化推進委員	34人	15人	—	1人	6人
計	53人	27人	2人	3人	6人

### 2. 事務局職員 18人

### 3. 新体制移行日 → 平成30年7月15日

# IV.東日本大震災からの復興

## 1. 私の住んでいる七郷地区(10年前)



▲ 津波の様子

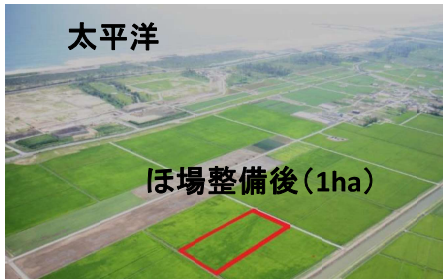


▲ 堆積したがれき



▲ 津波で流されたトラクター

## 2. 大規模ほ場整備



- 区画: 10a~30a→50a~1ha
- 仙台市が農業者負担分を補助(実質負担ゼロ)

- 機械が流され、廃業した農家が多数
- 作業効率アップ
- 集落営農組織・法人の設立
- 組田(1枚の水田を数名で耕作)の解消が課題

1枚の水田を1農家で耕作  
担い手へ農地利用を集約促進

# V.My activity(私の活動)①

## 1. 経営意向調査とマッチング活動

経営意向調査(令和元年) 調査数5,371戸、回答数2,323戸(回収率43%)

結果: 農業をやめたい(29%)、規模縮小(16%)→合計45%



マッチング活動(令和2年) 農業委員、農地利用最適化推進が戸別訪問

- ・地図をみながら、貸したい農地、売りたい農地の場所の確認
- ・売りたい人に「あっせん申出書」、貸したい人に「中間管理事業の申込書」配付
- ・担い手を紹介

### 感想

- ほ場整備した優良農地であり、耕作者は見つけやすかった。
- 被災地のため、転居した人が多い、また、兼業農家のため日中不在で会えない。
- 推進委員として、農地集約に一役買ったかもしれない。

## V.My activity(私の活動)②

### 1. 女性農業者との交流(女子会の開催)

きっかけ:女性農業者と農業委員会との懇談会  
女性農業者→「農業者の仲間ができない」「相談相手がいない」

**第4回女子会開催(私たちを繋ぐのは「農業」、農業女子、集まれ!)**



▲料理中は、真剣そのもの



▲おいしい料理の前に話が弾む

## VI.私の推進委員としての目標

- 農地利用の最適化を推進する。  
(農地の流動化、遊休農地の解消、新規参入の促進)
- 新規参入者へのサポートを大事にする。
- 女性農業者の絆を大事にし、地域の仲間づくりを進める。

ご清聴、ありがとうございました。